

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院における大腿骨転子部骨折術後に関する検討

2. 研究の対象患者

2008年4月2日～2016年3月26日までの期間で旭中央病院（当院）に入院・手術となった大腿骨転子部骨折受傷患者

3. 研究の対象期間

2008年4月2日～2016年3月26日

4. 研究の概要

国立社会保障・人口問題研究所による老年人口割合をみると、平成29年現在の65歳以上の老年人口は3500万人（総人口の28%）、平成47年には33.4%で3人に1人を上回り、40年後の平成72年には39.9%、すなわち2.5人に1人が老年人口となる。このような急激な高齢化は先進国でも類を見ず、今後我が国は超高齢化していくことは明確である。当院の所在地である旭市においても国勢調査では人口約7万人に対し、65歳以上が24%そのうち90歳以上は1.2%（全国平均0.3%）である。このような高齢化が進む中、大腿骨近位骨折は年間15万件以上発生していることが推測され、今後更なる増加が予想される。発生率に関しても高齢になるほど高い。そこで今回、当院における高齢者の大腿骨転子部骨折患者の現状を調査し、先行研究との比較を行う。術前・術後の歩行能力、転帰状況を把握し、更なる質の高いリハビリテーションを提供できるよう課題の抽出を行う。

5. 研究実施予定期間

2017年3月21日～2018年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：識別コード、年齢、性別、術前・術後合併症、歩行能力、認知症の有無、術前待機時間、入院日数等

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先） 地方独立行政法人 総合病院旭中央病院
・ 研究責任者： リハビリテーション科 宇井 和弘
・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)